

光化学オキシダントの測定結果(平成17年度)

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染(いわゆる光化学スモッグ)の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成17年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間(午前5時から午後8時まで)の1時間値の最高値が最も高かったのは、中津川測定局の0.155ppmでした。

なお、「岐阜県大気汚染緊急時対策要綱」に基づく光化学スモッグ予報の発令日数は3日(岐阜地域2回、東濃西部地域3回、恵那・中津川地域1回)であり、光化学スモッグ注意報の発令日数は1日(東濃西部地域1回)でした。

平成17年度光化学オキシダント測定結果

地域	測定局名	昼間測定日数(日)	昼間測定時間(時間)	昼間年平均値(ppm)	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数とその割合		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数とその割合		昼間の1時間値の最高値(ppm)	日最高1時間値の年平均値(ppm)	環境基準の適否	平成16年度	
					時間	%	日	%				昼間年平均値(ppm)	環境基準の適否
岐阜	岐阜中央	365	5457	0.027	332	6.1	82	22.5	0.120	0.045	×	0.026	×
	岐阜南部	365	5444	0.026	327	6.0	79	21.6	0.097	0.045	×	0.028	×
	岐阜北部	362	5403	0.028	360	6.7	85	23.5	0.114	0.046	×	0.030	×

	各務原	355	5249	0.028	404	7.7	90	25.4	0.117	0.047	×	0.031	×
	羽島	364	5438	0.027	355	6.5	75	20.6	0.107	0.046	×	0.030	×
	平均	/	/	0.027	/	/	/	/	/	/	/	0.029	/
西濃	大垣中央	365	5422	0.022	126	2.3	40	11.0	0.121	0.036	×	0.025	×
	大垣南部	365	5432	0.023	157	2.9	43	11.8	0.085	0.037	×	0.024	×
	平均	/	/	0.023	/	/	/	/	/	/	/	0.025	/
中濃	美濃加茂	365	5439	0.027	388	7.1	80	21.9	0.106	0.047	×	0.029	×
東濃	笠原	365	5442	0.028	587	10.8	114	31.2	0.145	0.052	×	0.031	×
	中津川	365	5465	0.025	511	9.4	104	28.5	0.155	0.049	×	0.029	×
	平均	/	/	0.027	/	/	/	/	/	/	/	0.030	/
飛騨	高山	356	5304	0.026	174	3.3	40	11.2	0.085	0.040	×	0.028	×
	乗鞍	365	5448	0.045	854	15.7	99	27.1	0.118	0.046	非適用	0.052	/
	平均	/	/	0.036	/	/	/	/	/	/	/	0.040	/
	県平均	/	/	0.028	/	/	/	/	/	/	/	0.030	/

備考)

- 1 県地球環境課調べ
- 2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す。
- 3 環境基準に適合しているとは、1時間値が 0.06ppm 以下であることを示す。

○過去 10 年間の経年変化

